

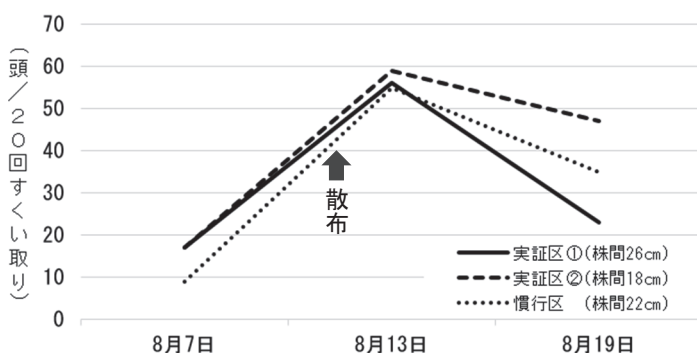
持続可能な水田農業に向けてスマート農業を推進しています

高梁市の水田営農は、高齢化による労力不足や中山間地域特有の狭小なほ場条件により効率的な展開が困難となっており、作業の軽労化と作業効率の向上が求められています。

そこで普及指導センターは、管内へのスマート農業技術の普及のため、次の取組を実施しました。



ドローンを活用した病害虫防除



実証結果例) ウンカ類発生数の推移

株間が広いほど防除効果が高い

(収量は各区同等、品種：コシヒカリ)

【スマート農業技術研修会の開催】

8月と11月に管内の水稻生産者を対象に、栽培管理技術向上のための研修会を開催しました。令和6年度は、中山間地域での営農を悩ませる「畦畔管理」と「鳥獣害」について、スマート農業技術の実演を交えて紹介しました。

当日は多くの生産者が参加し、省力技術への高い関心が感じられました。

研修参加者コメント

- ・草刈機での畦畔管理は重労働。農作業安全も心配である。
- ・鳥獣被害は年々深刻になっており、収量にも影響する。対策の必要性を感じている。

【農業用ドローンの導入支援】

備中町の農業法人では、水稻の病害虫防除作業の適期実施と負担軽減に向けて、農業用ドローンの導入を進めています。

普及指導センターでは、ドローン防除に適した栽植密度を検討するため、防除効果や収量性等を確認する安定生産実証を行った結果、防除効果に差が見られました。

同法人では、令和7年作からドローンを中心とした病害虫防除体系を計画しており、普及指導センターでは効率的な運用に向けて、作業スケジュールや生産コストの検討について支援していく予定です。



畦畔管理研修会（8月）



鳥獣害対策研修会（11月）

水稻の低コスト安定生産に向けて

令和6年度は米価が持ち直したものの、肥料・資材等の価格は高騰したままで、生産コストの削減が引き続き課題となっています。そこで、肥料コスト低減のため、鶏ふん+硫安を利用した低コスト安定生産実証を行った結果、被覆肥料と同等の収量を確保しつつ、肥料コストが約7割削減できました。

区 分	品 種	移植日	肥 料 名	施肥量 (kg/10a)			
				成分量			
				N	P	K	
実証区	コシヒカリ	5/16	発酵鶏ふん (基肥)	100	5	3	2
			硫 安 (穂肥)	12			
対照区			被覆一発肥料 (基肥)	25	5	3	3

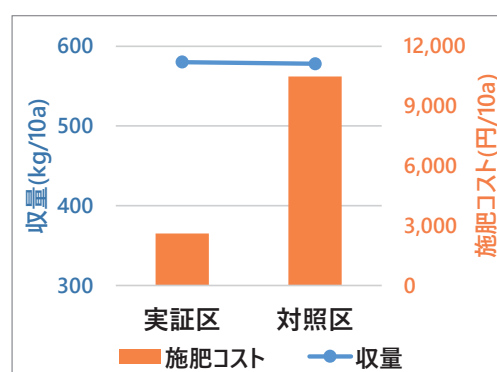
施肥設計

実証生産者コメント

- ・手間はややかかるが、肥料代の削減効果は経営的に大きい。
- ・鶏ふん散布後すぐにすき込めば、臭いはほとんど気にならない。



鶏ふん利用のほ場 (8. 27)

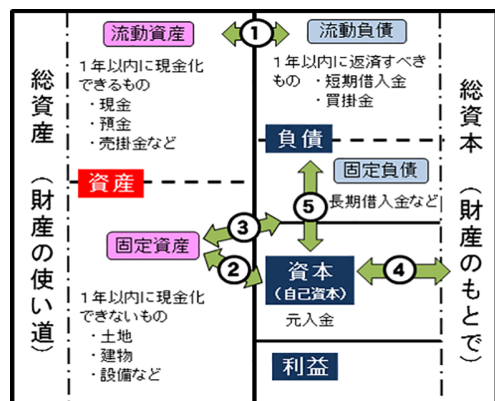


収量と施肥コスト

申告だけではもったいない！ 決算書を経営改善に活用

2020年農業センサスによると、高梁市内の農家のうち27%が青色申告しており、15%が正規の簿記（複式簿記）で決算書が作成されています。

青色申告の特例・節税だけで満足？いやいや、決算書は経営の健康診断書と同じ、悪いところ（問題点）を見つけて、経営の改善・発展へつなげられます。



貸借対照表

◆自分でできる健康診断（経営分析）

- ・資金繰りの安全性を計る

$$\text{①流動比率} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$$

目標：150%以上、200%以上が理想。

- ・財務の健全性を計る

$$\text{④自己資本比率} = \text{自己資本} \div \text{総資本} \times 100$$

50%以上には保ちたい。

- ・採算ラインを示す

$$\text{損益分岐点売上高} = \text{固定費} \div \{ 1 - (\text{変動費} \div \text{売上高}) \}$$



上記以外にも診断指標には様々な視点があります。

決算書を活用して、まずは簡易な方法で定期的に分析・点検する習慣をつけましょう。

代謝プロファイルテストで繁殖成績向上に取り組んでいます

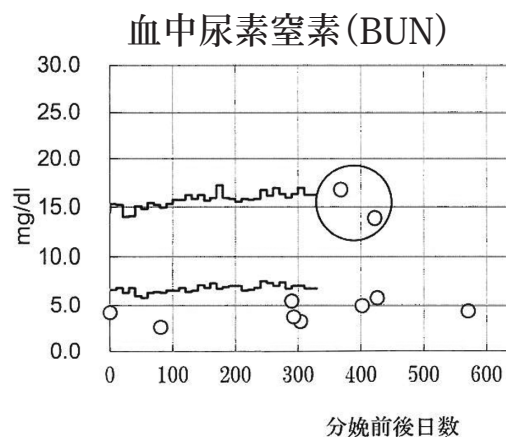
令和6年度から単県事業の肉用牛生産条件特別整備事業が拡充され、新たに代謝プロファイルテスト等の飼養管理改善に必要な検査の支援（補助率 1/2 以内）を行えるようになりました。

代謝プロファイルテストとは、繁殖成績向上のために行う血液分析による牛群の栄養モニタリング手法です。飼養環境や飼料給与内容等の聞き取りを併せて行うことで、牛群の栄養状態を把握し、バランスを崩している場合の要因の推測が可能です。

岡山和牛資質向上対策協議会では、地域部会活動として肉用牛繁殖農家の巡回指導を行っており、本年度、さっそく農家での繁殖成績向上に向けた取組に本事業を活用することにしました。



検査結果報告会



検査結果の一部（タンパク質）



ルーサン（アルファルファ）



検査の結果、この農家の牛群はタンパク質が不足していることが分かりました。聞き取り内容を合わせて分析すると、分娩後の栄養不足（特にタンパク質）から繁殖が停滞し、結果として繁殖牛の栄養度が高くなっていると推測されました。

そこで、結果をもとに関係者が集まって報告会を開催しました。飼料給与面ではタンパク質補給のためのルーサンの給与を、繁殖管理面では子宮卵巢疾患の早期発見のために分娩後のフレッシュチェックを行うことや、発情周期の把握による発情発見率の向上のために繁殖カレンダーの活用を提案しました。

農家も提案されたその日からルーサンの給与を始め、その後、自給飼料の給与方法の変更や繁殖検診も実践するなど、一所懸命に取り組まれています。今後、牛群の状態を確認しながら、取組効果やさらなる対策を検討したいと思います。

本事業や巡回指導に興味を持たれた方は、備中県民局畜産第一班（086-434-7033）までご相談ください。

新規就農者を紹介します！

いながき けんさく
稲垣 憲作 さん



就農場所：高梁市有漢町有漢
経営品目：ぶどう

兵庫県から高梁市有漢町に移住してきました。家族と一緒にできる仕事として農業を選び、ぶどうを栽培しています。

びほく地域のぶどうブランドの質を落とさないよう、品質の良いぶどうを栽培していきたいと思っています。

やお ともえ
矢尾 知恵 さん
ひろと
拓人 さん



就農場所：高梁市備中町平川
経営品目：トマト

備中町平川に夫の知り合いがおり、その縁で地域と交流を重ねていくうちに、豊かな自然と地域の方の温かさに魅了され、この地でトマトを栽培しながら生活していくことを決めました。

1年間の研修を経て、2024年4月に夫婦で就農しました。実際に自分達で栽培をしてみましたが、親方の圃場のように上手くいかないことが多々あり、知識や経験の不足を痛感しました。今年の反省点を生かして来年どこまで改善できるか楽しみです。

今後も、自分たちに合った管理・栽培方法を模索し続け、先輩農家に負けない美味しいトマトを作っていきたいです。

* 農業実務研修後、令和6年1月～12月に就農された方を掲載しています。

* 県は、新規就農者支援施策の基礎資料とするため、市と協力して毎年「新規就農者調査」を実施しています。卒業や退職等で、65歳未満で農業に専念される方は対象となる可能性がありますので、調査に御協力をお願いします。

おめでとうございます！～令和6年度受賞者・受賞団体～

豊かなむらづくり全国表彰（農林水産大臣賞）

むらづくり部門 西山維進会



和牛放牧とWCS用稲の作付けによる耕作放棄地の解消に取り組んでいます。放牧により里山との緩衝帯ができたことで、イノシシ等による農作物被害の未然防止にも繋がっています。また、高齢農家の支援策として、トマトやぶどうの作業受託事業により労働力を補完し、経営継続の支えとなっています。

さらに、県内外からの就農希望者を研修生として積極的に受け入れ、地区への定着を支援することで、地域の担い手不足の解消に取り組むなど、地域農業の安定化に尽力されています。

第57回岡山県農林漁業功労者表彰 （農林水産部長表彰）

農産部門 ^{さくま}佐久間 ^{しゅうじ}秀治 さん



高梁市でぶどう栽培に取り組んでいます。規模拡大を進めるため、簡易被覆栽培と無加温ハウス栽培の組み合わせやスピードスプレーヤーの導入により、作業分散や省力化、出荷時期の長期化を図り、中山間地域におけるモデル的経営を実現しています。また、農業士や地域の移住支援組織の中心メンバーとして、新規就農者に対し、技術や経営面だけでなく、地域での生活面のサポート、農地や空き家情報の収集・確保などに尽力し、地域農業の振興に貢献されています。



令和6年度過疎地域持続的発展優良事例表彰 (全国過疎地域連盟会長賞)

平川村定住推進協議会

平成20年4月に地区住民により発足し、田舎暮らし体験・交流事業をはじめとする新規就農者確保・定着支援事業に取り組んでいます。新規参入者の技術習得支援に加え、地区の生活習慣や行事への参加の仕方など生活面での支援も行い、就農・定着を地区ぐるみで支援し、高い実績を上げています。平成28年度には平川金野地区営農団地(1.77ha)を造成し新規参入者4人が入植しました。視察や講演の依頼も多く、むらづくりの模範となっています。



高梁市産業奨励及び功労者褒賞（大河賞） (令和5年度)

地域農業振興部門 こばやし みとじ 小林 三十二 さん

ももの早生、中生品種に加えて、地域に先駆けて晩生品種を導入し、収穫時期を分散させることで規模拡大と長期安定出荷を実現されました。高い技術力は地域生産者の模範となり、地域内への技術波及に貢献されました。

J A晴れの国岡山びほく桃部会長として、桃の節句に市内の園児に桃の開花枝をプレゼントして産地をPRするなど、部会の知名度向上に取り組みました。また、県農業士会長として、小学生の農作業体験などの食育や、担い手確保に大きく貢献されました。

岡山県主催の共進会で入賞されました

第63回岡山県枝肉共進会【和牛去勢の部】

農林水産大臣賞 えぐさ くにあき 江草 国昭 さん



岡山県備中県民局農林水産事業部 備北広域農業普及指導センター

〒716-8585 岡山県高梁市落合町近似 286-1

革新農業推進班 0866-21-2850

担い手・農産班 0866-21-2851

園芸班 0866-21-2849

FAX 0866-22-4059

ホームページ

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/107/>

高梁地域の就農情報

<https://www.pref.okayama.jp/site/587/>

農畜産物生産課

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島 1083

畜産班 086-434-7033

FAX 086-425-4921



(ホームページ)



(高梁地域の就農情報)